

みんなを守る

119

「救急車本当に必要なですか?」
「救急車の適正利用についてのお願い」

粕屋南部消防本部では、南部消防署と中部消防署にそれぞれ2台、計4台の救急車を配備して、24時間体制で急病やケガなどの救急事象に対応しています。ところが、近年、救急需要が増加の一途をたどっています。昨年1年間に救急車を要請された件数は6798件で、1日平均の救急要請件数は約19件にもなり、要請が重なってすべての救急車が出勤中のため、即対応できない事態が多く発生しました。

要請の内容を見てみると「病院に行く方法がなくて」や「昨日から具合が悪いのですが」など、早い時期での自己対応で何とかなったのではないかと考えられるようなものも多く見受けられます。

粕屋南部消防本部では、南部消防署と中部消防署にそれぞれ2台、計4台の救急車を配備して、24時間体制で急病やケガなどの救急事象に対応しています。ところが、近年、救急需要が増加の一途をたどっています。昨年1年間に救急車を要請された件数は6798件で、1日平均の救急要請件数は約19件にもなり、要請が重なってすべての救急車が出勤中のため、即対応できない事態が多く発生しました。

このようなことから、消防本部では救急車がすべて出勤中の場合、消防隊を現場に緊急に必要処置を行うなど、出来る限りの対応を図っています。しかし、それでも対応しきれない状況になっています。重篤な患者さんが発生した場合に、救急車がいつでも即応できるような体制を維持するため、住民のみなさんに救急体制



の現状をご理解いただき、救急車の適正利用について一層のご理解とご協力をお願いいたします。

救急車本当に必要なですか?…
ちよつと考えて!

この様な場合には、ためらわず119番通報を!!

▼激しい頭痛や胸痛
脳卒中や心筋梗塞は、一刻も早く病院での治療を行う必要があります。

こんなときは、まず問合せを!
▼自分で判断できない場合
・歯が痛い、鼻血が止まらない
・ねんざ、突き指をした
・カゼで熱がある など

受診可能な病院などの情報は、
・粕屋南部消防本部
☎ 935・5111
・福岡県救急医療情報センター
☎ 471・0099

「応急手当講習会」のお知らせ

消防本部では、急病やケガなど、イザというときに役立つ応急手当の講習会を開催しています。事業所、グループなど、ご要望により開催も可能です。詳しくは、お問い合わせください。

▼問合せ先
・粕屋南部消防本部・南部消防署
☎ 935・5111
・中部消防署
☎ 938・3216

※消防本部ホームページでも案内しています。ぜひご利用ください。

地域安全 安全安心まちづくり粕屋地区 セフティタウン須恵

速報 空き巣狙い、車上狙い・自動車盗にご注意

●空き巣狙い対策

- ・短時間の留守でも、必ず戸締まりをする。
- ・風呂場の窓や便所の高窓、ベランダのガラス戸のように、盲点になりやすいところも、忘れずに戸締まりをする。
- ・数日にわたり留守にするときは、新聞、牛乳などは配達を断るか、片付けを近所に頼んでおく。

●車上狙い・自動車盗対策

- ・自動車内に貴重品や金目のものを置かない。
- ・短時間でも自動車を駐車するときは、必ずエンジンキーを抜き、ドアには施錠をする。

●問合せ先 粕屋警察署・粕屋地区防犯協会
☎ 939-0110 内線 261・262



見事に咲いた守母の大ザクラ

緑を守り音まへ

守母の大ザクラ

保存樹と保存樹林、今回は守母の大ザクラです。地元にもあまり知られていない桜の古木です。県道古賀〜筑紫野線を甲植木区平原のラーメン店のわきから、山手にしばらく登ったところにあります。

桜は、急坂の山の斜面に屹立する感じで立っていて、周辺の樹木を圧倒して風格があります。

木は根元に近いところから枝分かれしていて、数本の幹を形成しています。若木のころ、一度途中から伐採されたのではないかと人もいます。古老の話によりますと、この一帯、以前は地元の「草切り山」でした。

戦前から戦後のある時期まで、地元の農家は一家に1台の車ならぬ1頭の農耕用の牛や馬を飼っていました。これらの家畜の飼料にするため、各農家はまた日も昇らぬ早朝、競つてこの「草切り山」に出て、鎌で草を刈るのを日課にしていました。

こうした牛や馬を使った農作業も、今ではすっかり姿を消して、作業は機械化されました。守母の大ザクラも、ある種の感慨に浸りながら、この高台から農業の変遷を見守ってきたのかも知れません。

平成18年秋の台風13号は、周辺の樹木に多大の被害をもたらしましたが、大ザクラに損傷はなく、古木とはいえ、若駒のようなエネルギーを、いまだに発散しているように見受けられます。

(須恵町自然教育推進協議会)

5月 わくわくデイサロン 6月

65歳以上 男女とも募集しています 初めての方大歓迎!

<p>16日(水) お楽しみゲーム 講師 合屋三千代 先生 自己負担金 300円</p>	<p>1日(金) 陶芸 (定員 25人まで) 講師 光安 逸子 先生 自己負担金 500円</p>
<p>18日(金) ほのぼの体操 講師 高濱 弥生 先生 自己負担金 300円</p>	<p>6日(水) さくらアート 講師 柴田 裕史 先生 自己負担金 500円</p>
<p>23日(水) ハンドベルと懐かしい唱歌 講師 高間美奈湖 先生 自己負担金 300円</p>	<p>8日(金) 花塗り絵 講師 合屋三千代 先生 自己負担金 200円</p>
<p>25日(金) 花塗り絵 講師 合屋三千代 先生 自己負担金 200円</p>	<p>13日(水) ケアピクス 講師 林崎万里子 先生 自己負担金 300円</p>
<p>30日(水) フラワーアレンジメント 講師 矢野 由紀 先生 自己負担金 500円</p>	<p>15日(金) お楽しみゲーム 講師 合屋三千代 先生 自己負担金 300円</p>

●申込資格 65歳以上で町内に住所を有する人
●開催日時 水・金曜日の午前中 (10:00 ~ 12:00)
●場 所 ボランティアセンター1階
●定 員 30人 ※予約が必要です。
●申込み・問合せ先 役場福祉課 ☎ 932-1151 (内線 126)